

## 孫の「屋台」乗り子に感激しました!

25期 西村喜美江

播州姫路は秋祭りが有名で多くの神社で毎年10月に開催されています。私の住む地域の魚吹八幡神社は、ちょうちんわり・豪華な「屋台」が18台で練り合わせ・檀尻が4台で演芸等を披露・獅子檀尻が1台披露します。今年、住んでいる宮田地区の屋台に5年生の双子の孫が「乗り子」になりました。10月1日から毎日太鼓の練習をして10月21、22日の本番を迎えました。乗り子は土を踏んではいけないので家から肩車をして頂き、屋台に乗ります。宮出しが孫の晴れ姿です。「乗り子」の4人が力を合わせて太鼓を叩きます。朝早くから夜遅くまでの2日間の出立ちです。

豪華な屋台には4人の乗り子が乗り込んで太鼓を叩きながら掛け声を吹き手(担ぎ手)と掛け合います。屋台とともに乗り子の衣装も龍や虎などの神獣を染めた豪華なものです。2日間楽しく無事にお祭りが終り、乗り子の孫が「天国のお父さんも感謝していると思います」と村の人達に挨拶しました。涙が止まりませんでした。祭りが大好きだった亡き息子や主人の思いを果たせた気がしました。孫達は太鼓の稽古で大変でしたが、私も乗り子衣装を応援してやるのに財布と相談しながらで大変でした。でも、孫の晴れ姿を見ると感激し、喜びと元気ももらった今年の秋祭りでした。たくましく育っている姿を見て、お嫁さんにも感謝しながら、私の自慢の孫達です。



宮田の屋台練り (屋台を上げます)



孫が乗り子として屋台に



乗り子としての晴れ姿(弟)



乗り子を肩車して出立



乗り子としての晴れ姿(兄)